

～阪南福祉事業会の取り組みについて～

阪南福祉事業会は1933年に創設者永野勇吉のもと、公道授産会として非行少年の教化事業を行ったことに始まります。終戦後は主に戦災孤児の保護を中心に活動していましたが、徐々に変化する社会のニーズに対応していく中で、今のかたちへと移ってきました。現在の当法人の主な事業内容としては、児童養護施設や保育所、情緒障害児短期治療施設を中心とした児童福祉施設の運営です。

児童養護施設岸和田学園は本会の母体施設で、92名定員の大規模施設です。社会に送り出した児童の数は1000名を超える歴史ある施設です。現在の入所児童の主訴の約60%が被虐待のケースということもあり、看護師や臨床心理士も配置し、大規模な中でもきめ細かいケアに取り組んでいるのが特徴です。

保育所運営としては日本で初めての夜間保育の実施、外国語教育の導入、食育の充実など、地域のニーズに応えることに努めてまいりました。

情緒障害児短期治療施設「あゆみの丘」は、昨今の社会的ニーズに応え、不登校、被虐待、発達障害等の子どもたちのケアに臨んでいます。園内に小学校と中学校の分校を設け、入所児童全員に心理治療を実施しています。また、児童養護施設とは異なり、子どもたちの「生活の場」であると同時に、「治療の場」である点も特徴です。

2008年4月には新設の児童養護施設「あおぞら」が開設されました。岸和田学園の老朽化による建て替えの必要性と、虐待等の要保護児童の増加に対応するためオープンした小舎制の児童養護施設です。11人以下のユニット単位のケアを実践し、より家庭的な環境の中で、子どもたちが心身ともに健やかで豊かな発達が出来るような施設を目指します。各ユニットでは浴室、トイレはもちろんのこと、その他生活に必要なものが全て配置されており、小学生は2or4人部屋、中学生以上は1or2人部屋を使用します。また、兄弟で入所するケースにも対応し、大舎制の施設では難しかった兄弟の愛着関係の回復、保全にも積極的に取り組みます。さらに、本施設では、「地域交流ホール」を設置。社会福祉施設が地域で果たすべき役割についても検討し、地域貢献の一貫として、「地域交流ホール」の解放を行っています。また、公文式学習に加え、陶芸教室、バトン教室があります。以上のように、児童養護施設「あおぞら」では新旧の取り組みをバランスよく、柔軟に織り込み、子ども達の福祉の増進につとめています。

このように、阪南福祉事業会は80年以上、児童福祉を実践してきました。しかしながら、私たちは未だに子ども達が育つ環境の最善の形を見つけているとは考えていません。2008年4月に「あおぞら」がオープンし、本会は児童養護施設(大舎制)、児童養護施設(小舎制)、保育所、情緒障害児短期治療施設、児童家庭支援センターと、児童福祉の多岐にわたる事業を展開することになります。私たちはその利点を最大限に生かし、「子どもたちにとっての最善の利益」を探していくつもりです。

児童福祉の道を志す皆様、子どもたちの未来のために、私たちと共に活動しましょう！

募集要項

○見学・説明会・一次選考（筆記試験）

日程：4月25日（土）、4月26日（日）

時間：12：30 開場 13：00 開始 約3時間

場所：あおぞら

内容：岸和田学園・あゆみの丘・あおぞらの見学と説明、

希望される方は筆記試験も行います（内容：一般教養、児童福祉関連）

いずれの日程も同内容です。尚、任意ですので、出欠は採否に影響ありません

申込：電話、メール、faxにてお申し込みください

※受験日を明記の上、なるべく受験日3日前（当日消印有効）までに履歴書を事前送付

どうしても間に合わなければ、筆記試験当日にお持ちください

送付先⇒596-0808 大阪府岸和田市三田町911 阪南福祉事業会 採用担当宛

○二次選考・面接

一次通過者のみ実施、日程は合格者へ連絡いたします

○お申込み・お問い合わせ先

社会福祉法人 阪南福祉事業会 採用担当 倉田賢一郎

Tel：072-445-0710（岸和田学園） fax：072-445-9690

メール： info@kishiwada-gakuen.or.jp